



出雲小だより3月号

令和6年3月1日
大田区立出雲小学校
校長 関眞理子



①いつでも、どこでも、チャレンジする子
②ずっと、なかよし、やさしい子
③もりもり、わくわく、きたえる子

学校ホームページ: <https://www.ota-school.ed.jp/izumo-es/>
住所: 〒144-0044 東京都大田区本羽田1丁目2番4号
電話: 03(3742)3542 FAX: 03(3742)3543



豊かな心情・わくわく・ドキドキの学び

校長 関眞理子

2月10日の学習発表会では、展示の部として、図工科作品、舞台発表として、日頃の学習成果を観ていただきました。大勢の皆様のご参観いただき、感謝申し上げます。↓図書室のコーナー

さて、写真のとおり、本校第14代校長 小林 正敏先生より、「出雲小学校の子どもたちに、かこさとしさんの本を置き、子どもたちの心情を育ててください。」というお言葉を添えて、寄贈していただきました。出雲小学校の子どもたちが、この本を手にとって、創造力豊かに成長していくことを願ってくださっている想いを感じました。今日から、子どもたちが手に取って読んでいきます。ありがとうございました。



令和5年5月より、コミュニティスクール(CS 出雲)を立ち上げ、多くの委員の皆様から、本校の子どもたちに、授業の提案をしていただきました。

1 秋山光明委員長

とうぶ移動教室事前学習では、とうぶの地形を活用した施設づくりを学びました。移動教室がよりよい活動につながりました。



秋山 光明
南六郷一丁目町会
町会長 (CS出雲委員長)

子どもたちが未来を見据えたモノづくりやもの考え方を、体験を通じて学ぶことは意義深い。
町会活動は、大人目線になりがち。子ども世代に、「町会とは?」「誰がやっているの?」「何をやっているの?」と問題意識をもってもらう意義は大変大きい。家族で町会の話題が多くなり、親世代の意識改革につながってほしい。

6学年:とうぶ移動教室事前学習

2 戸塚俊二委員

大師橋架替工事の秘密について、首都高速道路(株)や工事関係企業と連携し流通や橋の役割を、知る機会になりました。



戸塚 俊二
(羽田特別出張所長)
CS出雲委員

首都高速道路(株)との連携 大師橋の役割を学ぼうの学習を提案。
10/4(水)、全校児童に大切な流通や日本の台所を支える身近な大師橋の掛け替え工事の秘密を探る学習を実施することができた。
CS出雲委員や保護者にも参観していただいた。

3 小野澤行平委員

六郷ふれあいフェスタでの本校の紹介動画を地域力推進センター玄関入口モニターにて、本校の3から6年の児童の取組作品を紹介しました。



小野澤行平
(六郷特別出張所長)
CS出雲委員

2/18(日)の六郷ふれあいフェスタで、出雲小学校「おたの未来づくり科」新設に向けた児童の取組紹介を提案していただいた。
六郷地区青少年対策委員会の「社会を明るくする運動」での本校の取組紹介動画を放映していただき、地域へ知っていただく機会を得た。

六郷ふれあいフェスタ(取組紹介予定)

感謝申し上げます。

3月行事予定

日にち	曜日	内容	
1	金	お話会(1・3・5)	SC
2	土		
3	日		
4	月	全校朝会 感謝の会 5,6h(6)	
5	火	委員会 お話会ロング 3h(5) 5h(6) 星空プラネタリウム1~4h(4)	SC
6	水	校外学習(5組)	
7	木	縦割班活動 安全指導日	
8	金	卒業式練習(6) 社会科見学(5) お話会(2・4・6)	SC
9	土	土曜授業・土曜補習 笑顔と学びの体験プロジェクト2h(全)3h(5・6)	
10	日		
11	月	全校朝会 卒業式練習(6)	
12	火	卒業式練習(5・6)	
13	水	卒業式練習(5・6)	
14	木	卒業式練習(5・6)	SC
15	金	卒業式練習(5・6) お話会(1・3・5)	
16	土		
17	日		
18	月	全校朝会 卒業式練習(5・6)	
19	火	卒業式予行(5・6) 午前授業(1~4)	SC
20	水	春分の日	
21	木	給食終 卒業式練習(5・6)	
22	金	卒業式	
23	土		
24	日		
25	月	修了式	
26	火		
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		

※今月は予告なしの避難訓練(震災・火災)があります。

※春季休業日中の緊急の場合等は、大田区夜間・休日窓口へ連絡して下さいますようお願いいたします。

大田区夜間・休日窓口 TEL03-5744-1112

※たよりのデジタル化

学校だよりや学年だより、保健だより、給食だより等のたよりは、まなびポケットを活用し、デジタル配信していきます。



3月 生活目標

・お世話になった方に感謝の言葉を伝えよう ・学校をきれいにしよう



卒業に向けて

6学年担当 三浦・中谷

本学校での学習と生活もあと1か月となりました。最後のクラブ活動、最後の委員会活動など、「最後の〇〇」という言葉を使うことが増え、締めくりや卒業を意識して、寂しさを感じている子も多いです。

6学年では、「6年生を送る会」が終わり、「感謝の会」の準備が始まりました。これまでお世話になった先生方や家族の方に、言葉や態度で感謝の気持ちを伝えていく月になりました。

下級生のよい手本となる最高学年らしい姿で卒業していくために、自律することや何事にもチャレンジする姿勢を大切に、残りの日々を過ごしていきます。



最高学年に向けて

5学年担当 菅野・福本・台座

3学期に入り、6年生から委員会や縦割班活動などで、バトンの引継ぎを行う場面が多くなり、最高学年になるという自覚が、少しずつ芽生え始めてきました。

今年度、移動教室で学んだ仲間と過ごす楽しさ、運動会で培った協力する力、学習発表会で感じた人に伝える喜びを各々で実感しながら成長をしてきました。来年度は、本学校の最高学年として、さらなるステップアップをしていくように、日々、子どもたちの伸長に手ごたえのあるものや引き続き、よりよい未来創りの担い手として、また出雲小学校の顔として、胸を張って歩みだせるように、残りの1か月を過ごしていきます。



高学年に向けて

4学年担当 近藤・東海林・仙波

4学年は、「スマイル」をテーマに一年間学習を進めてきました。2月9日(金)・10日(土)に行われた学習発表会では、「笑顔を届けよう」をテーマに、これまで学習してきた成果を発表しました。自分たちの身の回りにある笑顔の瞬間を探す中で、「友達」との関わりがどれだけ大切なものかを実感することができました。また、学習の中で「素敵なあいさつをしていきたい!」と高学年に向けて、目標をもつことができました。

総合的な学習の時間「わたしがいていあんハッピーなおかし」では、亀田製菓(株)と連携して、米菓を使用した新商品づくりに取り組みました。ターゲットに合わせた商品のアピールポイントを工夫し、亀田製菓の社員の皆様に向けて発表することができました。

4月から「おおたの未来づくり科」が5、6学年で始まります。培った素地を生かし、新しい学びにチャレンジしていくことを期待しています。



お別れ遠足

5組担当 平賀・杉原・度会・小松原

2月16日(金)に東芝未来科学館にお別れ遠足に行きました。

6学年にとっては、最後の遠足でした。最高学年として、班のメンバーの様子を見守って、声掛けする姿がありました。

実験ショーでは、液体窒素を使った科学実験を見学しました。パラが液体窒素によって凍り、粉々になる様子に、一同驚いていました。クイズでは、積極的に発表し、状態変化に親しみをもつことができました。

見学エリアでは、静電気やエレベーターの仕組みなどを学習しました。体験活動を通して、科学の面白さにふれました。

その後、ラゾーナ川崎フードコートにて、昼食をとりました。配膳や片付けを積極的にする6年生の姿は、頼もしく、6年間の集大成となる校外学習となりました。この経験を、中学校でも発揮していくよう、さらにまとめの学習をしていきます。



【第7回おおた俳句大会 入選】

本校では、言葉や言語に親しみ、考えたことを文章にまとめたり、相手に上手に伝えたりするための一つの方法として「五・七・五」に取り組んでいます。保護者の皆様にも、長期休業中に御協力していただいておりますが、昨年の12月には全校で「おおた俳句大会」というものに応募しました。その結果、なんと「秀作」に3名、「佳作」に6名が入選しましたので、御紹介します。

【秀作】2年 山田 優花さん	4年 亀井 陽希さん	4年 高垣 沙世子さん
【佳作】1年 小島 侑聖さん	1年 宮崎 慎さん	4年 渡辺 蓮さん
4年 宗我部 喜子さん	4年 山下 歩花さん	6年 西川 慎太郎さん

今回、7280句あまりの応募があり、昨年の3倍以上の句が集まったようです。様々なところで俳句や川柳が身近に取り組みられ、言葉への感性が見直されています。今回の入選作品は3月3日(日)の正午から大田文化の森で展示されます。御興味のある方はぜひ、御覧ください。

副校長 小林 正明



【学校評価について御協力ありがとうございました】

現在、今年度の学校評価についてまとめております。今後、3月中旬を目途に学校運営協議会の委員の方の評価を入れて結果をホームページに掲載します。今年度も本校の教育活動に御協力いただき、ありがとうございました。